令和6年度　中・義務教育・特別支援学校　若年教員1年目研修（第2回）
演習・協議（13:55～15:10）

教科等の授業づくり
（保健体育科）

令 和 6 年 6 月 5 日 （ 水 ）
福 岡 県 体 育 研 究 所
指 導 主 事　 山 口　 拓 郎

はじめに

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

１　主体的・対話的で深い学びの目的

２　主体的・対話的で深い学びとは

３　主体的・対話的で深い学びに向けて

つなぐ

演習・協議の内容

1 「よい体育」の授業とは

2 授業づくりの視点

3 授業づくりの実際

これまでの授業づくりを

振り返りましょう

若年教員として

４月に赴任し、これまで行ってきた授業を振り返って、【うまくできた】授業を挙げましょう。また、うまくいった【要因】について、自分なりの考えをまとめましょう。

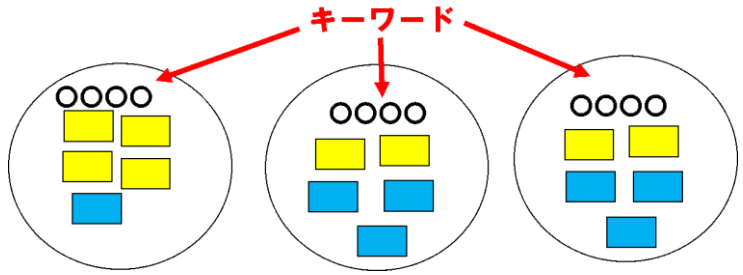
【方法】

1 付箋に書き出します。（3分）

【うまくできた】

【要因】

2 グループで共有します。（10分）



3 全体で共有します。（5分）

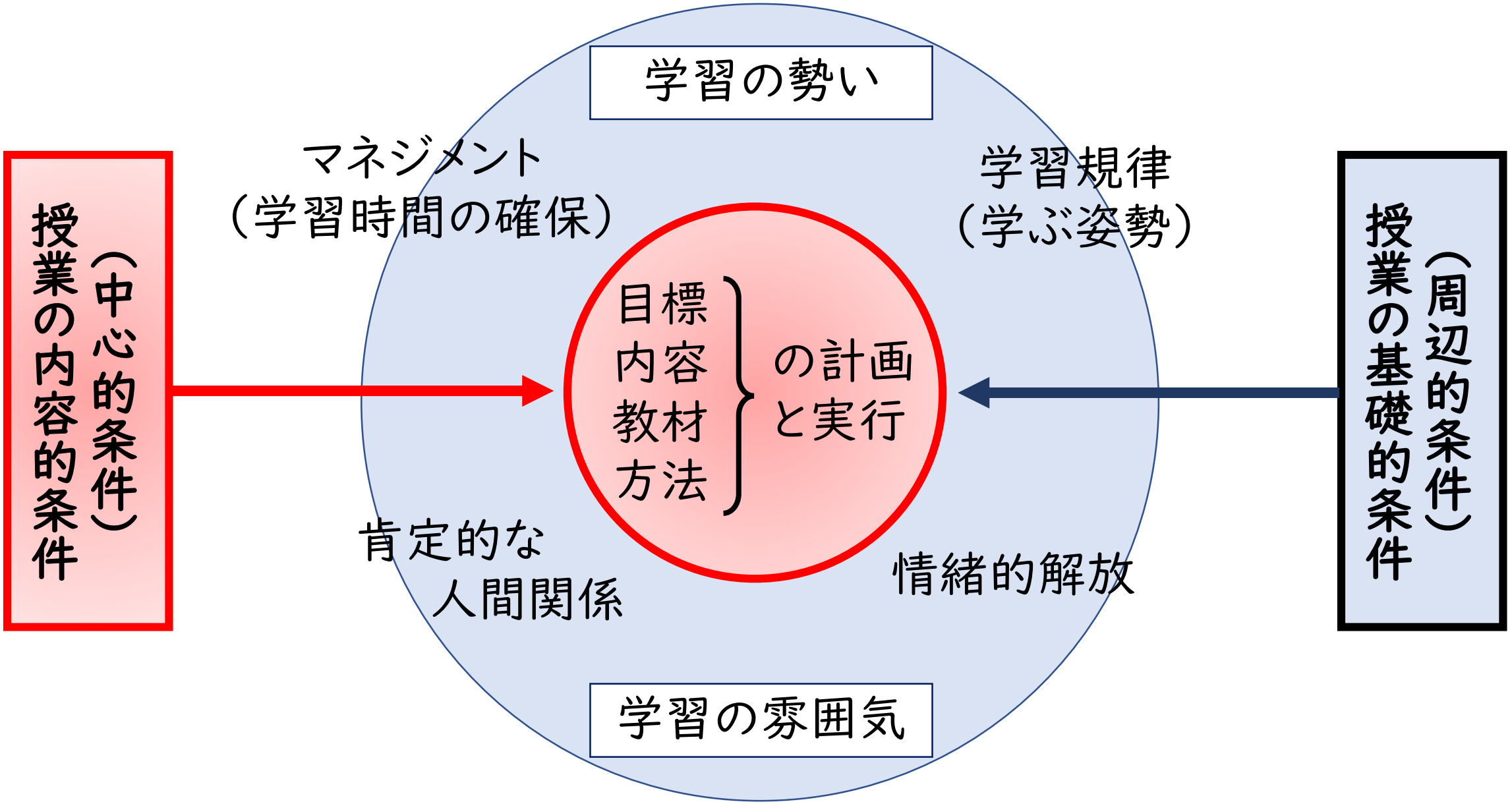
演習・協議の内容

1 「よい体育」の授業とは

2 授業づくりの視点

3 授業づくりの実際

「よい体育」の授業とは



【新版 体育科教育学入門:よい体育授業を成立させる条件（高橋）】

「よい体育」の授業とは

授業の基礎的条件
（周辺的条件）

授　業　規　律

マ　ネ　ジ　メ　ン　ト

情　緒　開　放

肯定的な人間関係

学習の勢い

学習の雰囲気

「よい体育」の授業とは

授業の内容的条件（中心的条件）

目標	明確な学習目標
内容	興味を引く内容
教材	教材・場づくり
方法	教師の指導性

演習・協議の内容

1 「よい体育」の授業とは

2 授業づくりの視点

3 授業づくりの実際

保健体育科の見方・考え方について

教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

〇知識及び技能
（１）各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

〇思考力、判断力、表現力
（２）運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

〇学びに向かう力、人間性等
（３）生涯にわかって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　保健体育編　Ｐ２４

保健体育科の見方・考え方について

各教科等の見方・考え方とは

「各教科等の『見方・考え方』は，『どのような視点で物事を捉え，どのような考え方で思考していくのか』というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　P4

保健体育科の見方･考え方について

保健体育科の見方・考え方とは

体育
運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること

保健
疾病や傷害を防止するとともに，生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ，「個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　保健体育編　Ｐ２５

保健体育科の見方・考え方について

体育の見方・考え方が働いている姿の例

・運動を楽しんでいる。
・友達の動きを見て、良いところを認めたり、アドバイスをしたりしている。
・友達の課題解決の手助けをしている。
・ゲームや競技会などの運営を進んでしている。
・頑張っている友達に声援を送っている。
・運動の行い方や楽しみ方をよく理解している。
・運動やスポーツの意味や価値に気づいている。

など

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

保健体育科の見方・考え方について

保健の見方・考え方が働いている姿の例

・日々の生活に関心をもっている。
・健康の大切さを認識している。
・自己の生活を見直し、生活の仕方や環境を整えようとしている。
・自分の心や体の変化を意識している。
・病気にかかったり、ケガをしたりすることを回避しようとしている。
・心と体の密接なつながりを実感している。

など

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

保健体育科の見方・考え方について

これからの体育指導で重視したい指導観の例

１知識と技能を関連付ける指導
　「わかる」と「できる」はつながっている。
　「わかってできる」を目指す。
　「うまくできないけどよくわかっている子」も大切になど。
２体育ならではの表現力を重視した指導
　「できる子はわかっている」→表現力の育成
　オノマトペ、動きで伝える、動きながら伝える。
　表情、歓声や拍手、ボディコミュニケーション
３共生社会の実現につながる指導
　多様な「できる」を創り出す→技能の「できる」だけではない。
　みんなが楽しい、みんなで楽しむ。
　子どもたちそれぞれの楽しみ方を保証する。

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

学習指導要領等の全体構造

新しい時代に必要となる資質･能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携･協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現
各学校における**「カリキュラム･マネジメント」**の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質･能力を踏まえた教科･科目等の新設や目標･内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質･能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的･対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識･技能の習得など、新しい時代に求められる資質･能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的・対話的で深い学びに向けて

基本の考え方

子供たちに「生きる力」を育む

目指すのは…

「何ができるようになるか」

大切なのは、
「何を学ぶか」だけではありません。

文部科学省　主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

基本の考え方

そのために…

「どのように学ぶか」

主体的・対話的で深い学びに向けて

基本の考え方

「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか

という視点から、授業をよりよくしていく

文部科学省　主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

主体的・対話的で深い学びに向けて

基本の考え方

いわゆる

アクティブ・ラーニング

の視点からの授業改善

子供たちの頭の中が
「アクティブ」に働いているか？

ただ話し合ったり、発表したりすることではありません

主体的・対話的で深い学びの実現

（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる**「主体的な学び」**が実現できているか。

【例】
- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力・人間性**等の涵養

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力**等の育成

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める**「対話的な学び」**が実現できているか。

【例】
- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る

【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう**「深い学び」**が実現できているか。

【例】
- 事象の中から自ら問いを見いだし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

主体的・対話的で深い学びに向けて

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味や関心を高める	互いの考えを比較する	思考して問い続ける
見通しを持つ	多様な情報を収集する	知識・技能を習得する
自分と結び付ける	思考を表現に置き換える	知識・技能を活用する
粘り強く取り組む	多様な手段で説明する	自分の思いや考えと結び付ける
振り返って次へつなげる	先哲の考え方を手掛かりとする	知識や技能を概念化する
	共に考えを創り上げる	自分の考えを形成する
	協働して課題解決する	新たなものを創り上げる

NITS独立行政法人教職員支援機構　「主体的・対話的で深い学び」の姿

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例　主体的な学び】

① 子供の＜　　＞をどう喚起するか。

② 学習の＜　　＞をどう明示するか。

③ 本時または単元の＜　　＞と
＜　　＞をどう明確にするか。

④ 毎時間の＜　　＞をどう大切にするか。

⑤ 本時または単元の学習の＜　　＞をどう確認するか

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例】

① 子供の＜　　＞をどう喚起するか。

主体的な学びの視点から授業改善を推進するには、学習への興味や関心を喚起したり、学習の見通しをもてるようしたりするとともに、学んだことやできるようになったことを自覚し、新たな学びにつなげることが大切。

④ 毎時間の＜　　＞をどう大切にするか。

⑤ 本時または単元の学習の＜　　＞をどう確認するか

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例　対話的な学び】

① 子供一人一人の＜　　＞を伸ばしているか？

② 課題解決の場面などで＜　　＞のある
対話が展開されているか？

③ 子供の＜　　＞や
＜　　＞につながっているか？

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例 対話的な学び】

対話的な学びの視点授業改善を推進するためには、運動についての課題を解決する際、他者(書物等含む)との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにすることが大切。

③ 子供の＜　　＞や

＜　　＞につながっているか？

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例　深い学び】

① 易しい課題に終始せず＜　　＞を促しているか？

② 課題解決に向けた＜　　＞の
深まりがみられているか？

③ ＜　　＞を働かせているか？

帝京大学　高田教授　作成資料（２０２３短期研修より）

主体的・対話的で深い学びに向けて

【授業改善の視点の例】

深い学びの視点から授業改善を図るためには、子どもが学習の過程において、課題の解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深めるとともに、体育の見方・考え方を働かせることができるよう、指導を工夫することが大切。

③ ＜　　＞を働かせているか？

演習・協議の内容

1 「よい体育」の授業とは

2 授業づくりの視点

3 授業づくりの実際

見方・考え方を働かせるための授業構想

子どもが、「見方・考え方」を働かせて思考するためには、働かせる「見方・考え方」を明らかにし、学習過程のどの場面、どの活動で「見方・考え方」を働かせるかを想定して授業を構想することが大切です。

<学習過程>
【どの場面で?】
【どの活動で?】

<深い学びへ誘う見方・考え方>
【どのような見方か】
【どのような考え方か】

<見方・考え方を働かせる手立て>
【どのような手立てを講じるか】

本時で育成する資質・能力

筑豊教育事務所：見方・考え方を働かせた授業づくり（2018.3）

見方・考え方を働かせるための授業構想

保健体育科を例に説明するとこのように考えられます。

＜学習過程＞例

1　つかむ

2　つくる

深い学びに誘うためにどの場面で、どのような「見方・考え方」を働かせるのか想定しておきましょう。

3　深める

4　まとめる

＜深い学びへ誘う見方・考え方＞

【見方】
〇何に着目させるのか
・教材(運動やスポーツ)の価値や特性
・教材(運動やスポーツ)の楽しさ・喜び・体力向上
【考え方】
〇どのように考えさせるのか
・「する・見る・支える・知る」のどのような関りと関連付けるか

＜見方・考え方を働かせる手立て＞

〇「課題」の設定　〇「資料提示」の工夫　〇「話し合う活動」の工夫
〇「教材」の工夫　〇「発問」の工夫　〇板書の構造化　等

本時で育成する資質・能力

筑豊教育事務所：見方・考え方を働かせた授業づくり（2018.3）

見方・考え方を働かせるための授業構想

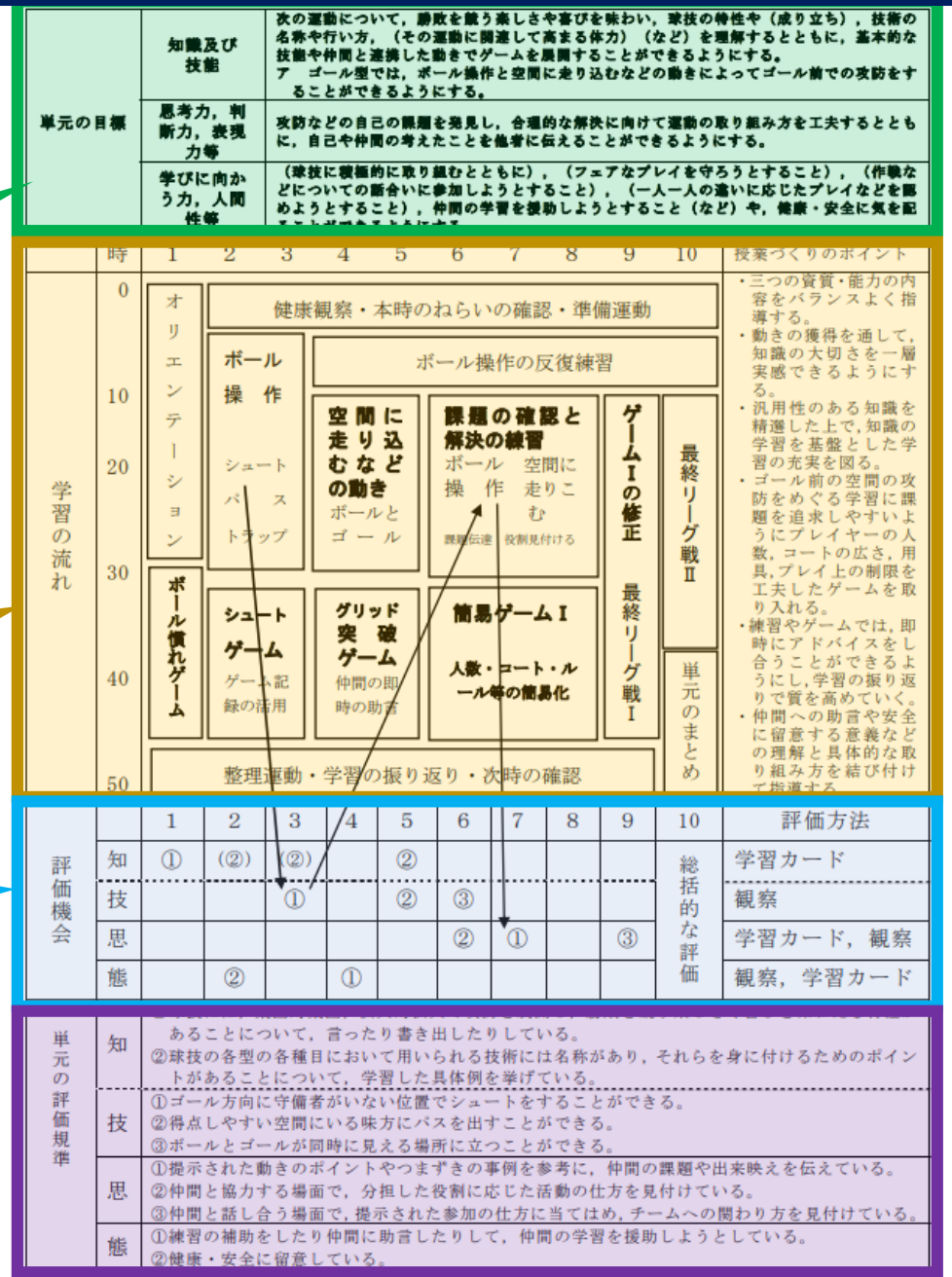
・資質・能力を偏りなく指導
・指導と評価の一体化
のためには「指導と評価の計画」の作成が極めて重要

単元の目標

学習の流れ

評価の機会

単元の評価規準



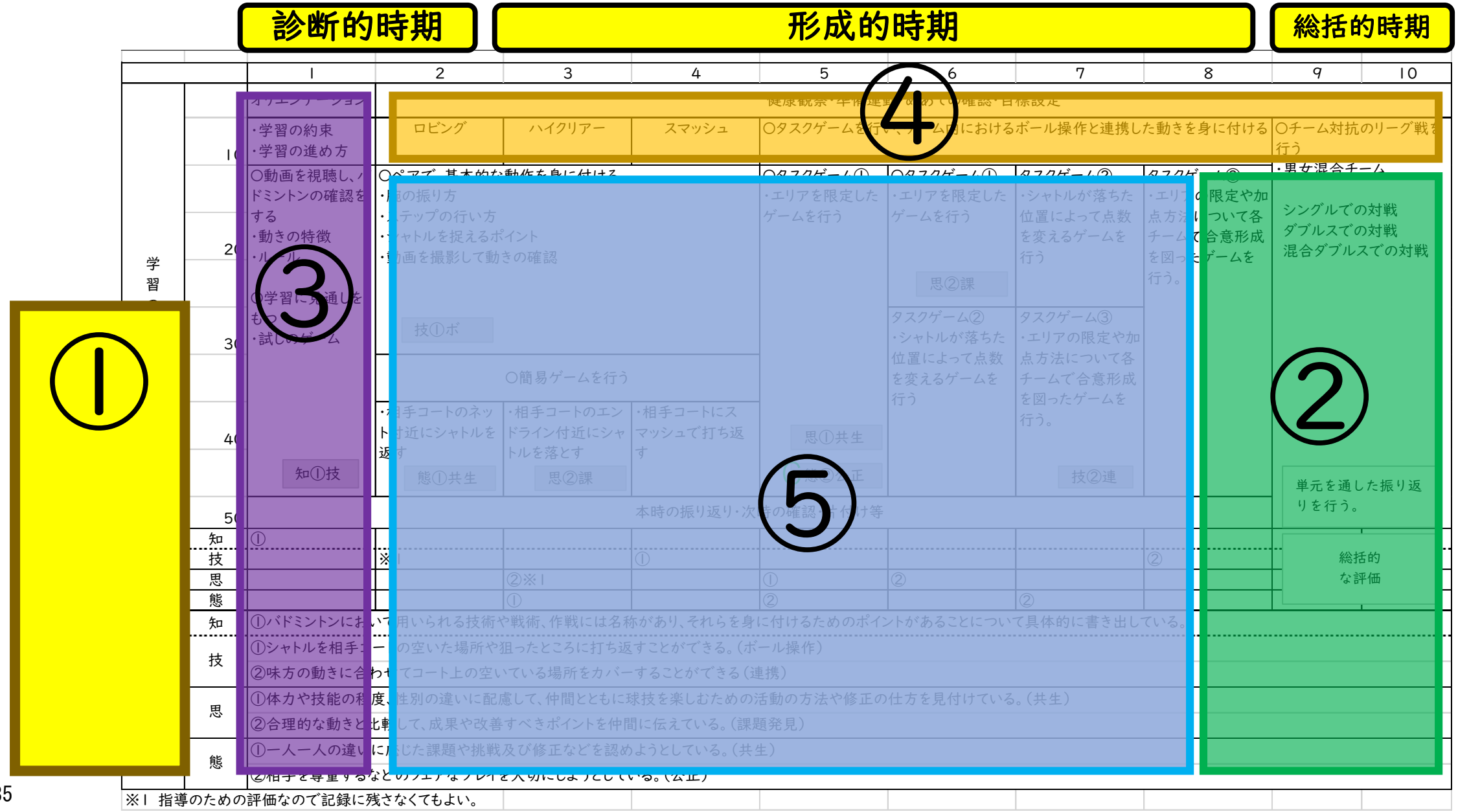
単元の目標		
	知識及び技能	次の運動について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や（成り立ち），技術の名称や行い方，（その運動に関連して高まる体力）（など）を理解するとともに，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ア　ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができるようにする。
	思考力，判断力，表現力等	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
	学びに向かう力，人間性等	（球技に積極的に取り組むとともに），（フェアなプレイを守ろうとすること），（作戦などについての話合いに参加しようとすること），（一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること），仲間の学習を援助しようとすること（など）や，健康・安全に気を配

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	授業づくりのポイント
学習の流れ	0 オリエンテーション：健康観察・本時のねらいの確認・準備運動										・三つの資質・能力の内容をバランスよく指導する。 ・動きの獲得を通して，知識の大切さを一層実感できるようにする。 ・汎用性のある知識を精選した上で，知識の学習を基盤とした学習の充実を図る。 ・ゴール前の空間の攻防をめぐる学習に課題を追求しやすいようにプレイヤーの人数，コートの広さ，用具，プレイ上の制限を工夫したゲームを取り入れる。 ・練習やゲームでは，即時にアドバイスをし合うことができるようにし，学習の振り返りで質を高めていく。 ・仲間への助言や安全に留意する意義などの理解と具体的な取り組み方を結び付けて指導する。
	10 ボール操作：ボール操作の反復練習										
	20 空間に走り込むなどの動き：ボールとゴール					課題の確認と解決の練習：ボール操作／空間に走りこむ（課題伝達・役割見付ける）			ゲームⅠの修正／最終リーグ戦Ⅰ	最終リーグ戦Ⅱ	
	30 ボール慣れゲーム	シュートゲーム：ゲーム記録の活用		グリッド突破ゲーム：仲間の即時の助言		簡易ゲームⅠ：人数・コート・ルール等の簡易化				単元のまとめ	
	40										
	50 整理運動・学習の振り返り・次時の確認										

評価機会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	評価方法
知	①	(②)	(②)		②					総括的な評価	学習カード
技			①		②	③					観察
思						②	①		③		学習カード，観察
態		②		①							観察，学習カード

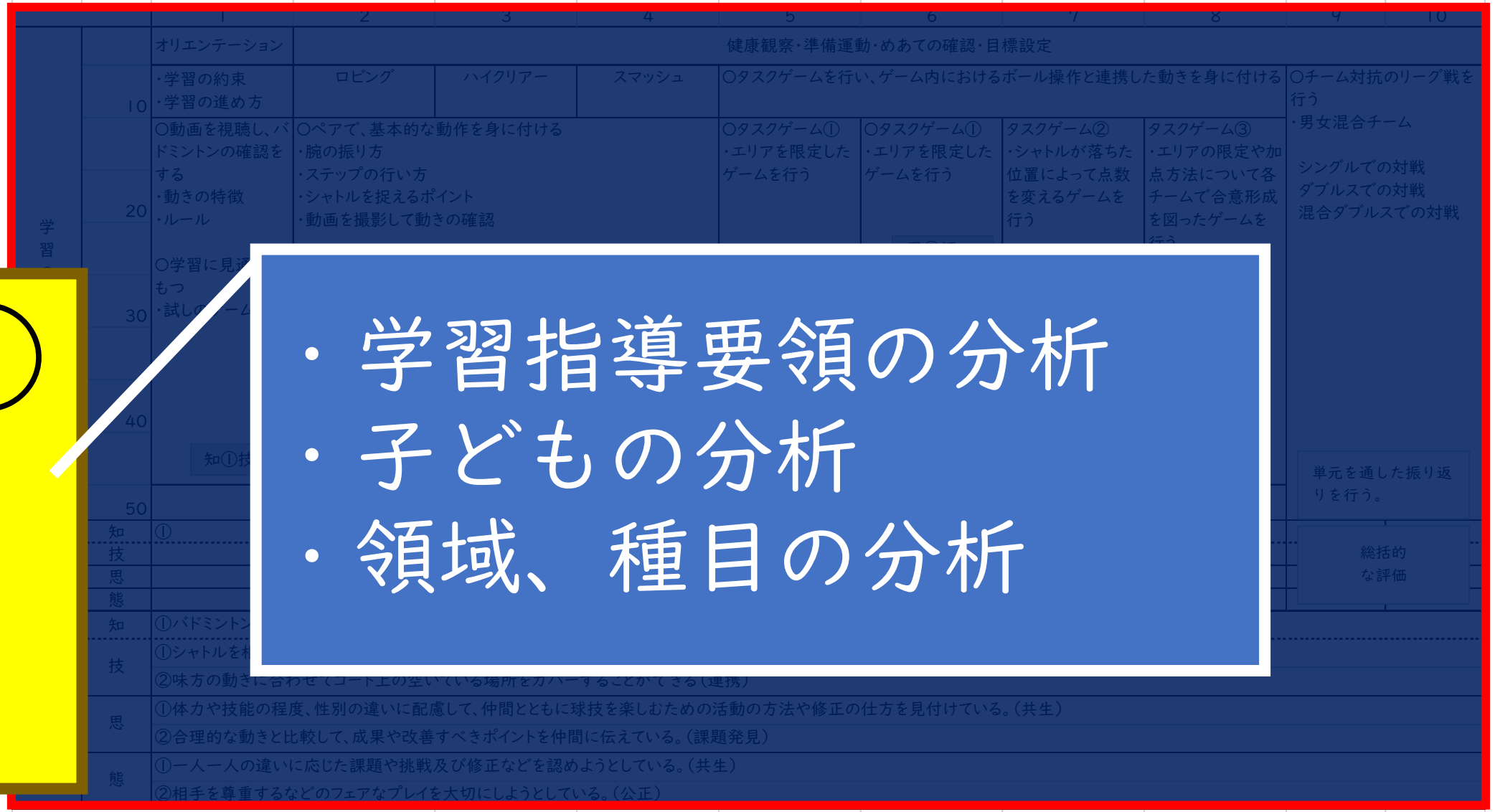
単元の評価規準	
知	あることについて，言ったり書き出したりしている。 ②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。
技	①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。 ②得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 ③ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。
思	①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。 ②仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ③仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けている。
態	①練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。 ②健康・安全に留意している。

見方・考え方を働かせるための授業構想



見方・考え方を働かせるための授業構想

診断的時期 | **形成的時期** | **総括的時期**

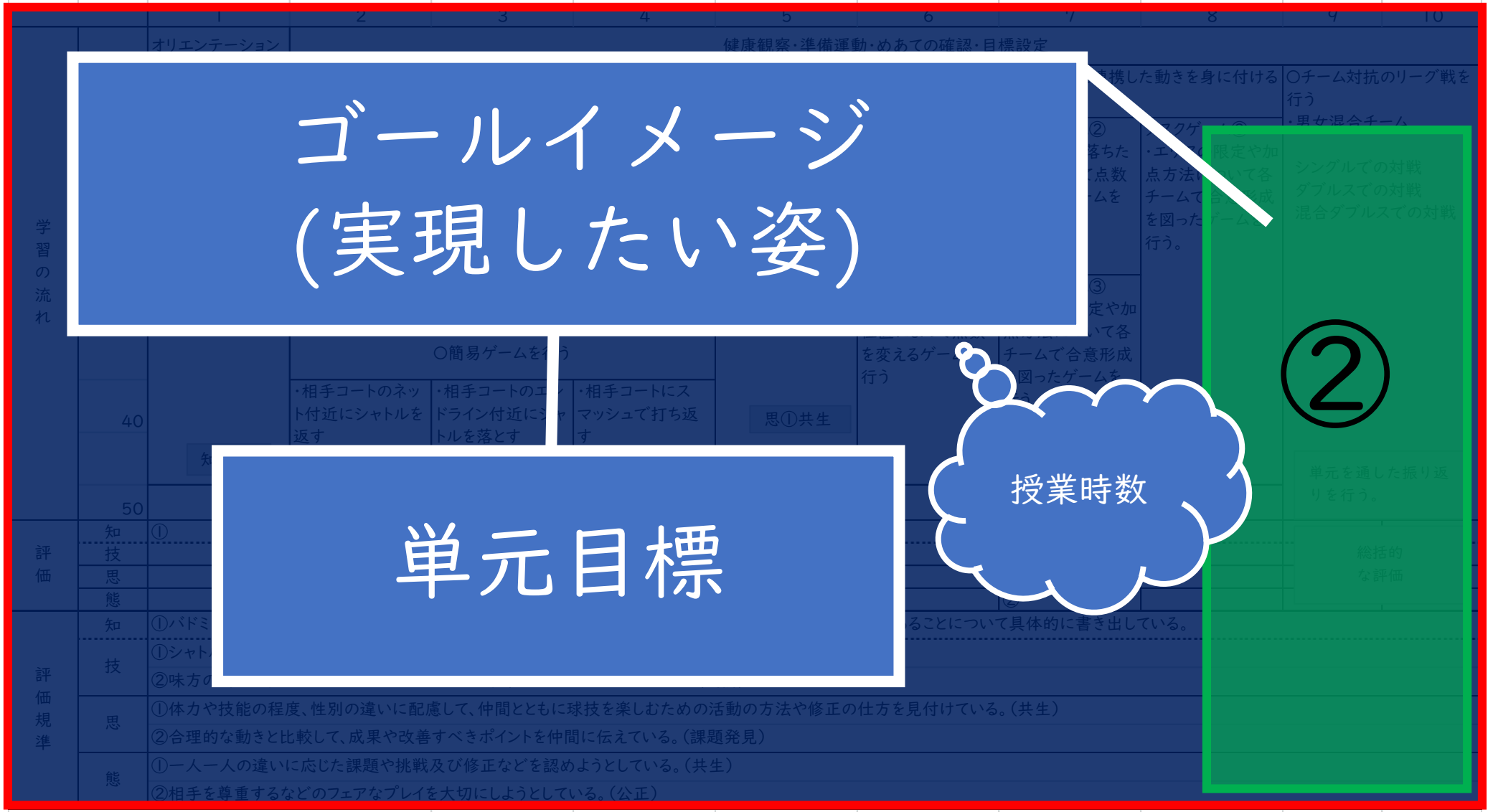


①

- 学習指導要領の分析
- 子どもの分析
- 領域、種目の分析

見方・考え方を働かせるための授業構想

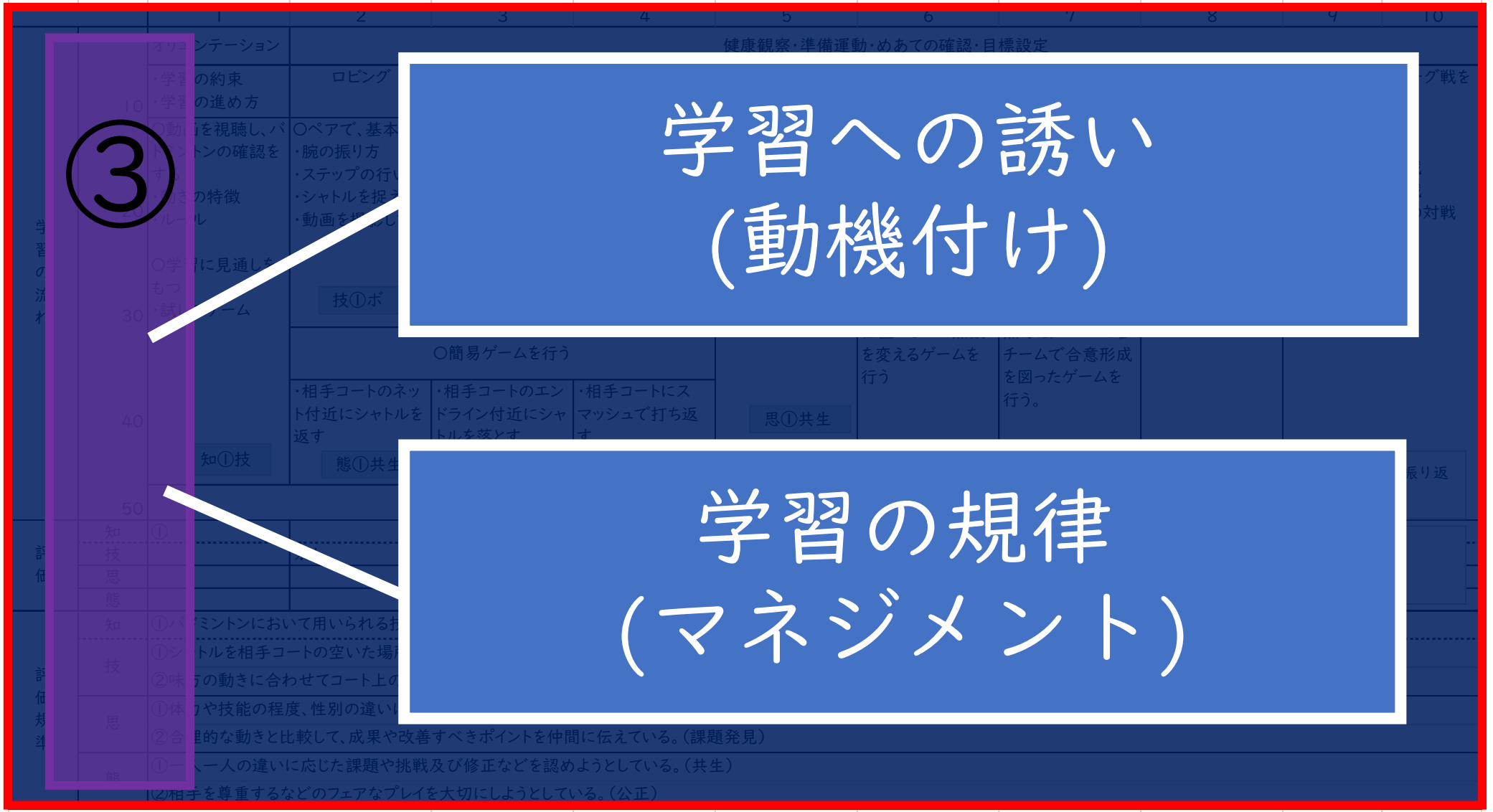
診断的時期 | **形成的時期** | **総括的時期**



※1 指導のための評価なので記録に残さなくてもよい。

見方・考え方を働かせるための授業構想

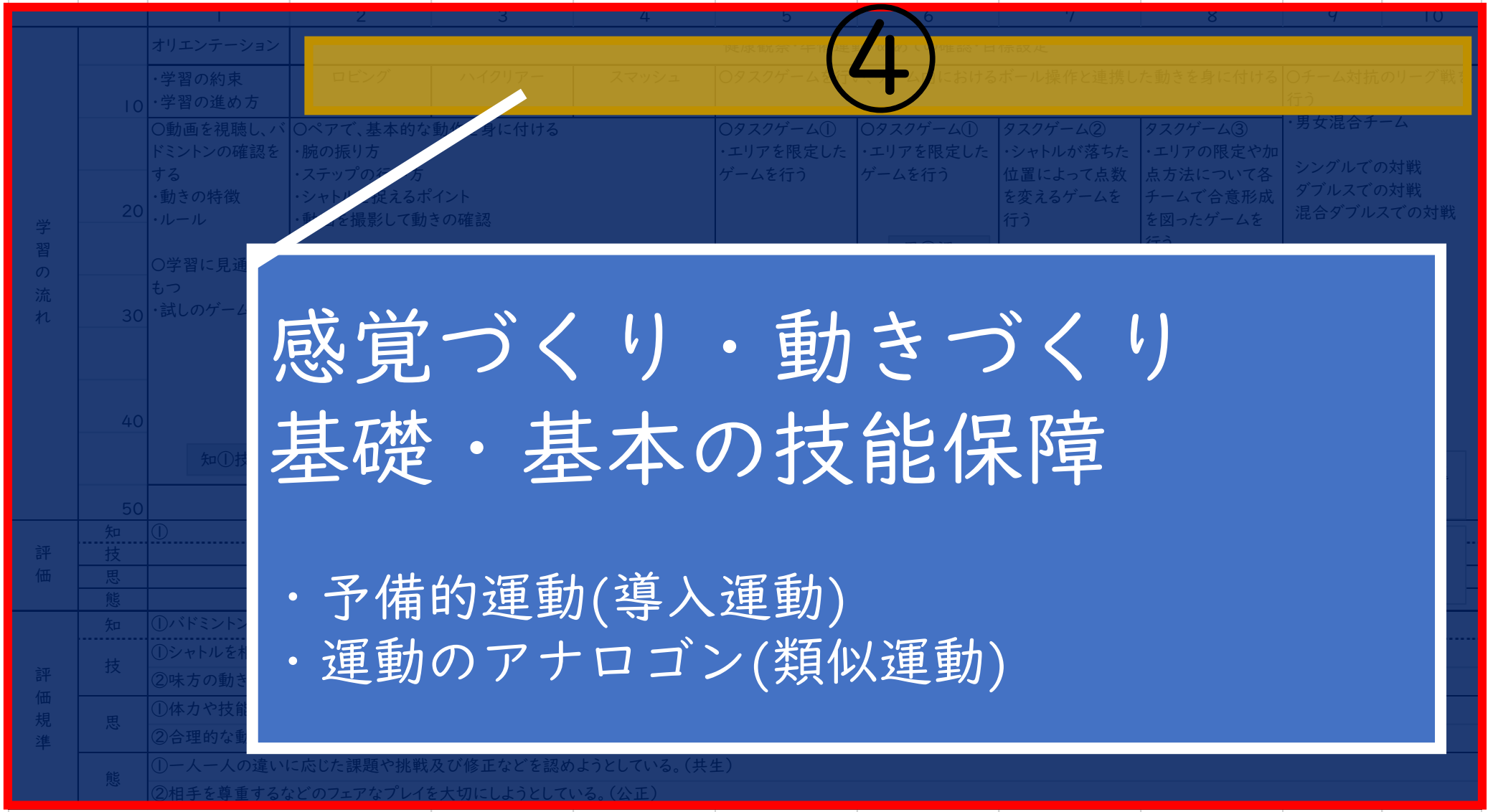
診断的時期 | 形成的時期 | 総括的時期



※1 指導のための評価なので記録に残さなくてもよい。

見方・考え方を働かせるための授業構想

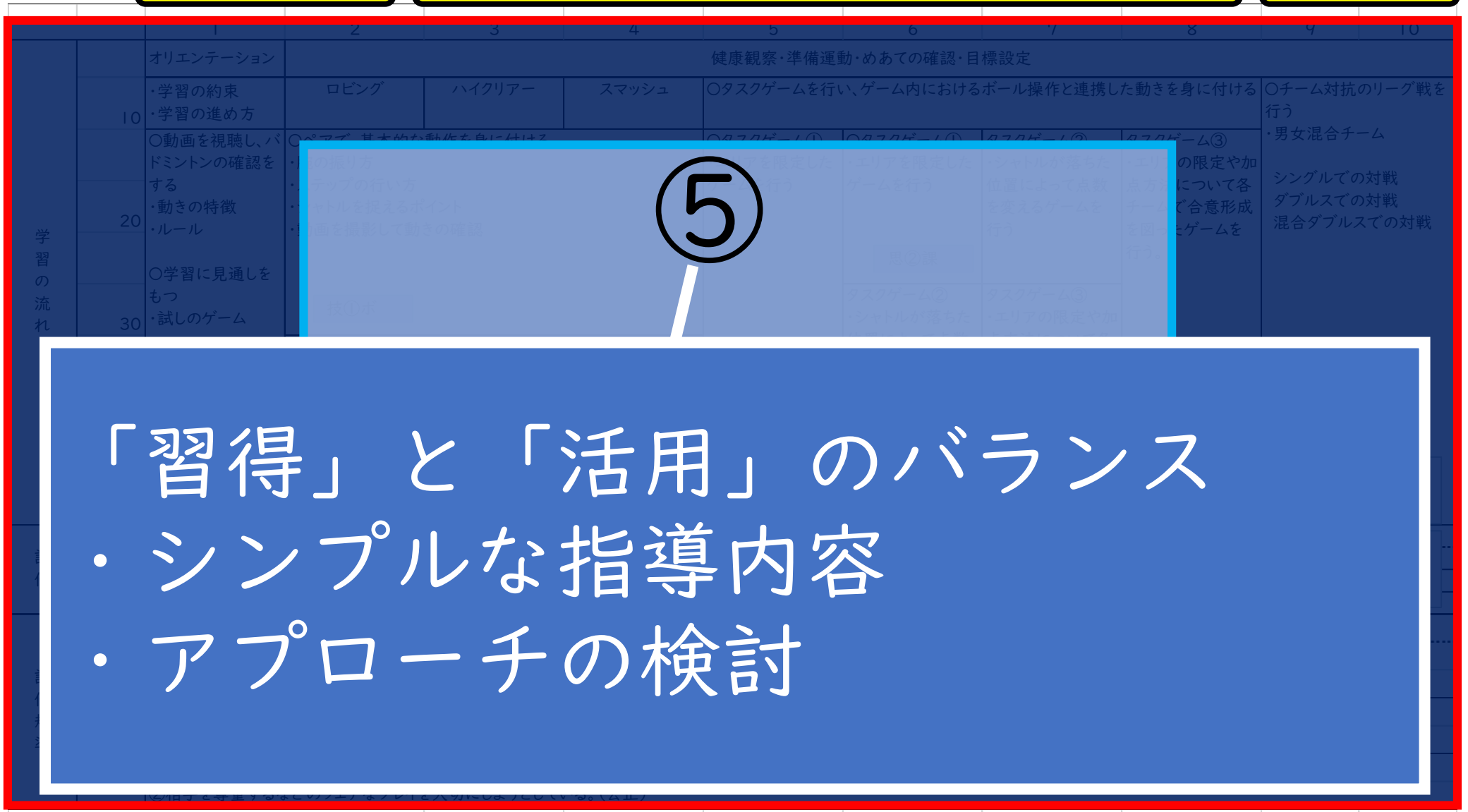
診断的時期　形成的時期　総括的時期



※1　指導のための評価なので記録に残さなくてもよい。

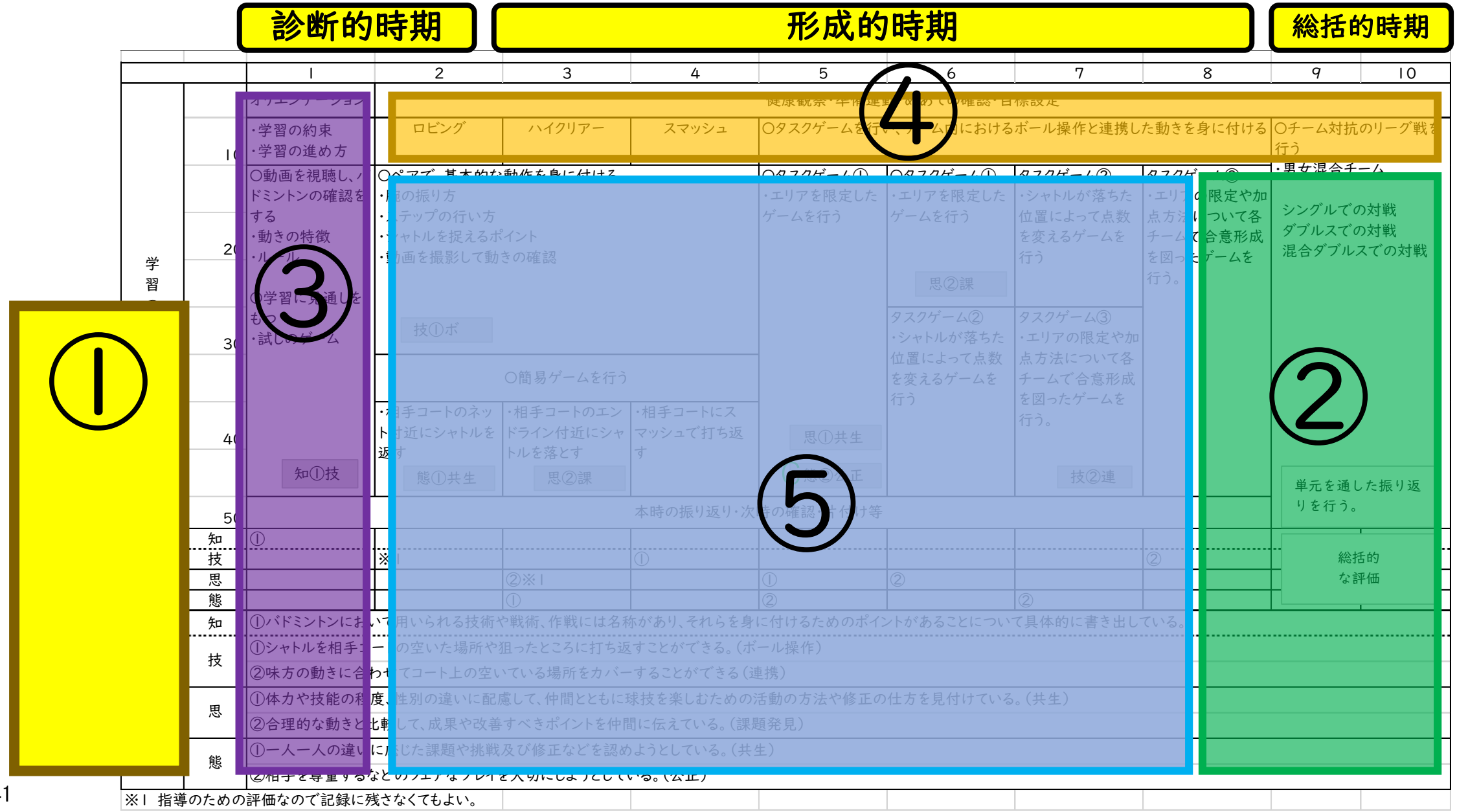
見方・考え方を働かせるための授業構想

診断的時期 | **形成的時期** | **総括的時期**



※1 指導のための評価なので記録に残さなくてもよい。

見方・考え方を働かせるための授業構想



見方・考え方を働かせるための授業構想

〇学習指導要領の趣旨を踏まえていること(必須事項)

↓

〇少し努力したら実現可能な具体の目標設定
〇「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランス
〇簡素で効率的な評価の在り方を踏まえた事前イメージ
〇教えて考えさせる、考えさせて納得させる指導過程
〇復習的活動、発展的活動、言語的活動、習得型、活用型

↓

綿密な計画と大胆な実践と修正改善

桐蔭横浜大学　佐藤教授　作成資料（２０２３短期研修より）

見方・考え方を働かせるための授業構想(演習)

例題　中学校2年生　球技「バレーボール」

○　単元の指導目標と評価規準はこちらで設定しています。
○　８時間という設定で行っています。
○　先生方は「２　単元の指導と評価の計画」を作成しましょう。

作成の手順

①ゴールのイメージを考える(生徒の姿)
②単元への動機付け、規律を考える
③動き・感覚づくりの運動を考える(基礎基本)
④習得と活用を考える(ドリルやタスク)

グループの前方２人で考えましょう

グループの後方２人で考えましょう

５分たったらグループで共有し、「２　単元の指導と評価規準」を協力して意見交換しながら作成しましょう

参考資料

動画で学びたい！（高学年バスケ） 【文部科学省】	コロナ禍における体育、 保健体育の教師用指導資料【スポーツ庁】
児童生徒の1人1台のICT端末を活用した 体育・保健体育授業の事例集：スポーツ庁（mext.go.jp）	コロナ禍における体育、保健体育の教師用指導資料 スポーツ庁（mext.go.jp）
家庭での体育、 保健体育の学習コンテンツ参考例【スポーツ庁】	小学校体育（運動領域）指導の手引 ～楽しく身に付く体育の授業～【スポーツ庁】
家庭での体育、保健体育の学習コンテンツ参考例 スポーツ庁（mext.go.jp）	小学校体育（運動領域）指導の手引 ～楽しく身に付く体育の授業～：スポーツ庁（mext.go.jp）

小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック	NHK for School
小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック ：文部科学省（mext.go.jp）	はりきり体育ノ介	NHK for School